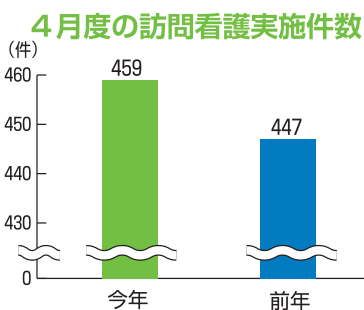


## 安心して治療が受けられるよう

必要な方に

# 「無低」申請や公的制度へつなぐ

### 無料低額診療



昨年を上回る訪問看護を実施しています

2019年度、総合病院での無料低額診療（以下、「無低」）申請数は100件を超える、今年度4月以降も7月10件を超える申請が続いています。例年の2、3倍の件数です。

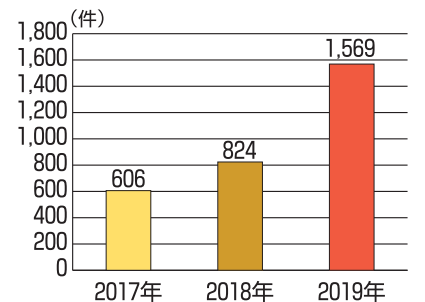
「とも」の新聞で読んだ、世話人さんから聞いた「院内ポスター、パンフレット、ホームページで知った」と広報により、「無低」申請につながり方も増えてきました。

### 地域にも「無低」のお知らせ

この間、サポートセンターでは「開業医訪問時に『無低』パンフレット」、「近隣の生活困窮者自立支援事業窓口（社会福祉協議会・行政）へ訪問」に取り組み、地域にも「無低」のお知らせをしています。その中で次のような相談が寄せられています。

地域連携窓口が開業医からの紹介状と「無低」案内を持参されたAさん。コロナ感染拡大で仕事も収入も減少、医療費とコロナ感染が心配で受診を躊躇されていますが、当口すぐに受診され、医療費の相談をし、必要な治療を受けられました。

同仁会の無料低額診療利用者の推移(延べ)



医療福祉相談室に直接よせられる相談だけでなく、入院や検査の

生活困窮者自立支援事業窓口では、「コロナ禍で生活費資金が急増。生活相談が増加している」との話を聞きました。訪問後日、「体調が悪くなり、会社から休むと言われ、収入が減少、所持金がわずか。受診したいがお金がない」「失業中で保険加入や医療費が心配」など、当院への受診相談につながっています。

### 公的制度の積極的活用に取り組み

治療中の患者さんから、コロナ感染拡大が影響した相談も寄せられています。「コロナの影響で、仕事の依頼がほとんどなくなった（自営業）」「日給月給の仕事で、出勤日数の減少で手取り減少」など、40〜60歳の稼働年齢層での相談が目立ちます。以前から、ぎりぎりの生計だったうえに、「コロナ感染流行で、仕事収入減、さらに体調不良が重なり、仕事に復帰できないなど、生活困難がつかがえます。

このような相談をきっかけに医療費以外の生活課題も聞き、「無低」にこだわらず、保険制度、生

説明時に「医療費が払えるか心配」など、他職種や部署の気づきや発信により、相談につながる事例もあります。

特に、外来や化学療法室から、治療費が高額になる「がん」の患者さんの相談が目立ちます。がん治療は、検査・入院・手術・化学療法、放射線治療など、高額な医療費負担が続くうえに、医療費の見直しもたかたか、病気の大きな不安とともに、多額な医療費が心配になる疾患です。

活保護、国保44条など、公的制度へつなぐ、安心して治療を受けていただけるようお手伝いいたします。

2月以降、コロナ感染拡大予防の観点から、厚生労働省などの通達により、社会保障制度が柔軟に運用され、短期証（期限が短期間）や資格証（10割負担）の方に本証（通常の負担割合で受診できる）が発行されるなど、安心して受診の動きがあります。

今後も引き続き、無料低額診療申請にとどまらず、必要な方に公的社会保障制度が行き届くよう

## 今後も利用者さん、職員の体調チェックで感染予防

伊与田真也

介護事業部は、訪問看護・訪問介護・居宅事業所・西三包括支援センター・通所リハビリテーションがあり、ほとんど事業が利用者さんのお宅を訪問し、サービスを行う事業になります。新型コロナウイルス感染症に関しては、発熱など、症状が出ないケースもあり、相談の中で公的制度の積極的活用に取り組んでいきたいと考えています。

（耳原総合病院サポートセンター 大平路子）

「職員自身が感染しているかもしれない」という視点でマスク・検温・体調管理を徹底し、訪問を行っています。

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、訪問前に利用者さんに電話をし、体調チェックをお願いしました。利用者さんも快く受け



## 世界平和実現の思いを世界に

2020年国民平和行進

先頭幕を持って行進する田端理事長（右端）

核兵器廃絶を目指し、1958年に始まった国民平和行進。コロナ禍の中にある今年は、規模を縮小して実施されました。

みみはらグループは、7月3日の浜寺公園から堺市役所までのコースに参加し、全体で72人、田端理事長を先頭に、みみはらグループからは21人の参加でした。

雨の中、マスクをしての行進でした。感染症で世界的な危機の中にある今だからこそ、軍事力ではなく、市民の生命を守るために力を合わせるこの大切さを訴えました。

今年は、原水禁世界大会もWebで行うことが決まっています。大勢で集まることはできませんが、核兵器廃絶・世界平和実現の思いを世界に発信しましょう。

「耳原総合病院サポートセンター 大平路子」

「職員自身が感染しているかもしれない」という視点でマスク・検温・体調管理を徹底し、訪問を行っています。

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、訪問前に利用者さんに電話をし、体調チェックをお願いしました。利用者さんも快く受け

今後、第2波、第3波も予測されます。これまでの取り組みを強化し対応していきますので、ご協力をお願いします。